

2026年3月期
第2四半期（中間期）
決算説明資料

2025年11月19日

芝浦機械株式会社

2026年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 対業績予想
- 2) 対前年同期

＜本編中の用語注釈＞

射出	： 射出成形機	(成形機セグメント)
ダイカスト	： ダイカストマシン	(成形機セグメント)
押出	： 押出成形機	(成形機セグメント)
工作	： 大型の工作機械	(工作機械セグメント)
精密	： 超精密加工機	(工作機械セグメント)
制御	： 制御機械セグメント	

※本編で使用されている“BSF”は、“リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置”を示しています。

業績サマリー（対業績予想）

Shibaura Machine

(単位：億円)

	2025年度 2Q累計実績 (A)	2025年度 2Q累計予想 (2025/5/12公表) (B)	差異 (A-B)
売上高	676	700	△ 24
営業利益	20	22	△ 2
利益率	3.0%	3.1%	△ 0.1pt
経常利益	24	21	+3
利益率	3.6%	3.0%	+0.6pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	17	16	+1
利益率	2.6%	2.3%	+0.3pt
受注高	492	660	△ 168
為替レート (USD)	149 円	145 円	

概ね業績予想通り 「BSF」はQ3で受注予定

- **売上高・利益：概ね業績予想通りに着地**
 - ・売上高未達
 - ・売上規模未達等により営業利益未達
 - ・為替影響による利益好転により経常利益及び中間純利益達成
- **受注高：押出成形機のEV用「BSF」の上期計画分はQ3で受注予定**

業績サマリー（対前年同期）

Shibaura Machine

(単位：億円)

	2025年度2Q累計 (A)	2024年度2Q累計 (B)	差異 (A-B)
売上高	676	868	△ 192
営業利益	20	84	△ 64
利益率	3.0%	9.7%	△ 6.7pt
経常利益	24	80	△ 56
利益率	3.6%	9.2%	△ 5.6pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	17	85	△ 68
利益率	2.6%	9.9%	△ 7.3pt
受注高	492	490	+2
為替レート (USD)	149 円	143 円	

※営業利益為替感応度 (US\$)
1円につき約1億円/年 (円安は利益増加)

前年同期比 減収・減益

■ 売上高

- ・射出成形機、工作機械等が増加も、中国における押出成形機のEV用「BSF」の減少により、全体の売上高は減少
増加セグメント：工作機械
減少セグメント：成形機（射出:増加、ダイカスト:増加、押出:減少）、制御機械

■ 営業利益・経常利益・中間純利益

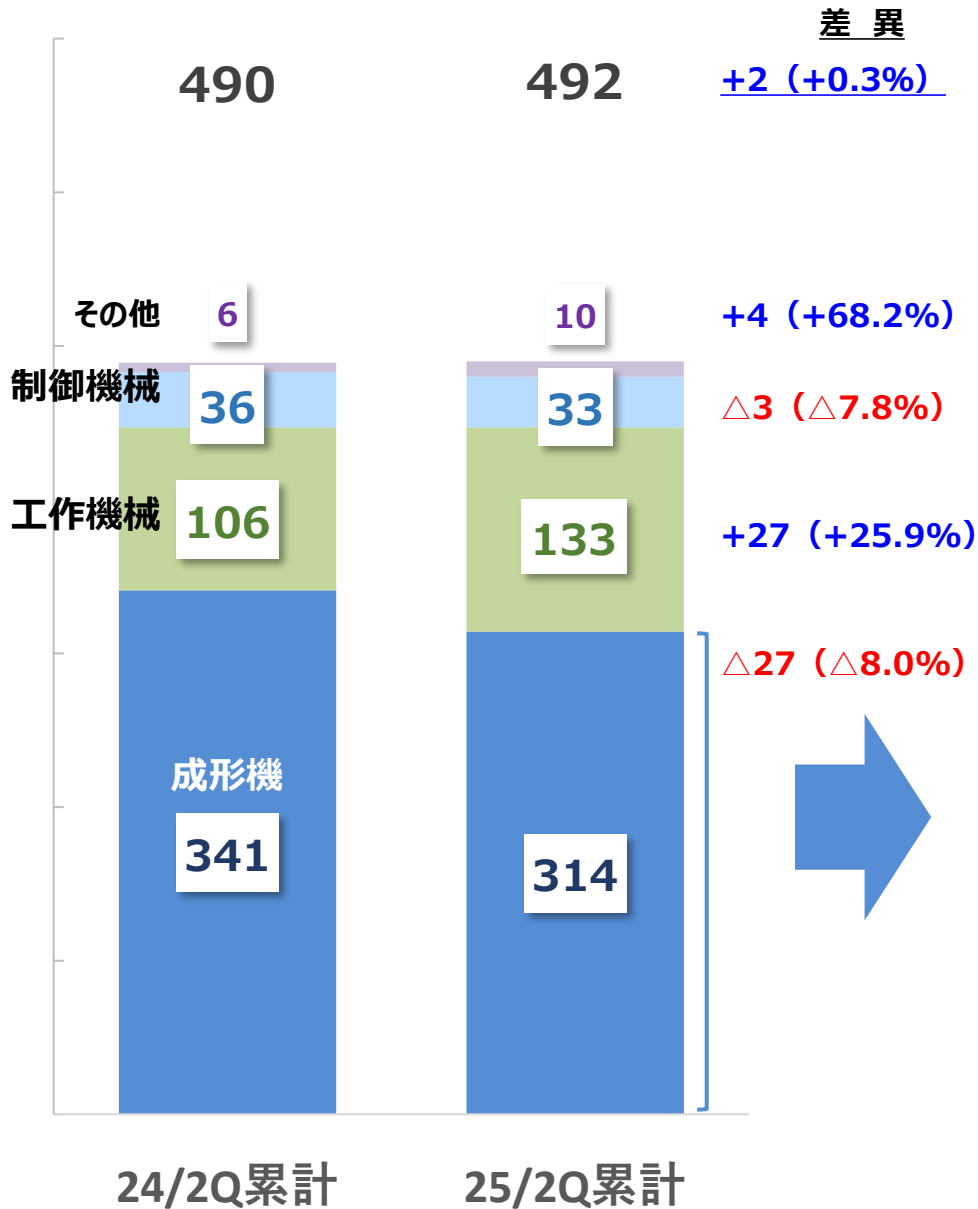
- ・売上規模減少により、営業利益・経常利益とも減益
- ・中間純利益は売上規模減少及び前年度に計上した固定資産（土地）売却益の反動減により減益

■ 受注高

- ・押出成形機が減少も、射出成形機、ダイカストマシン、工作機械の増加により、全体の受注高は微増
増加セグメント：工作機械
減少セグメント：成形機（射出:増加、ダイカスト:増加、押出:減少）、制御機械

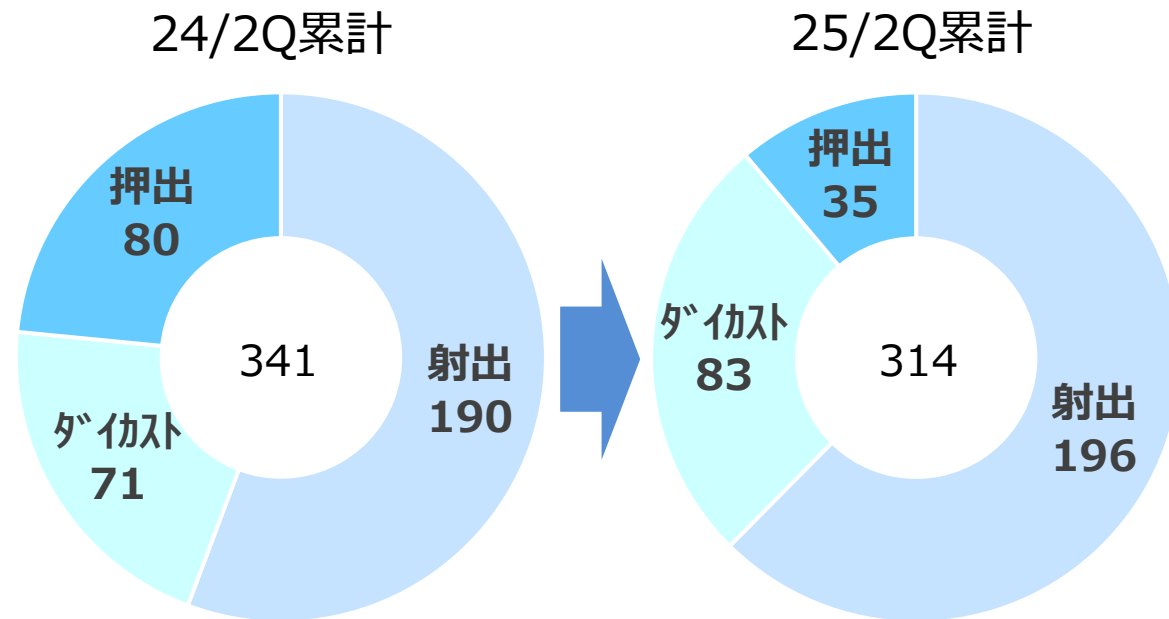
受注高 (セグメント)

(単位：億円)



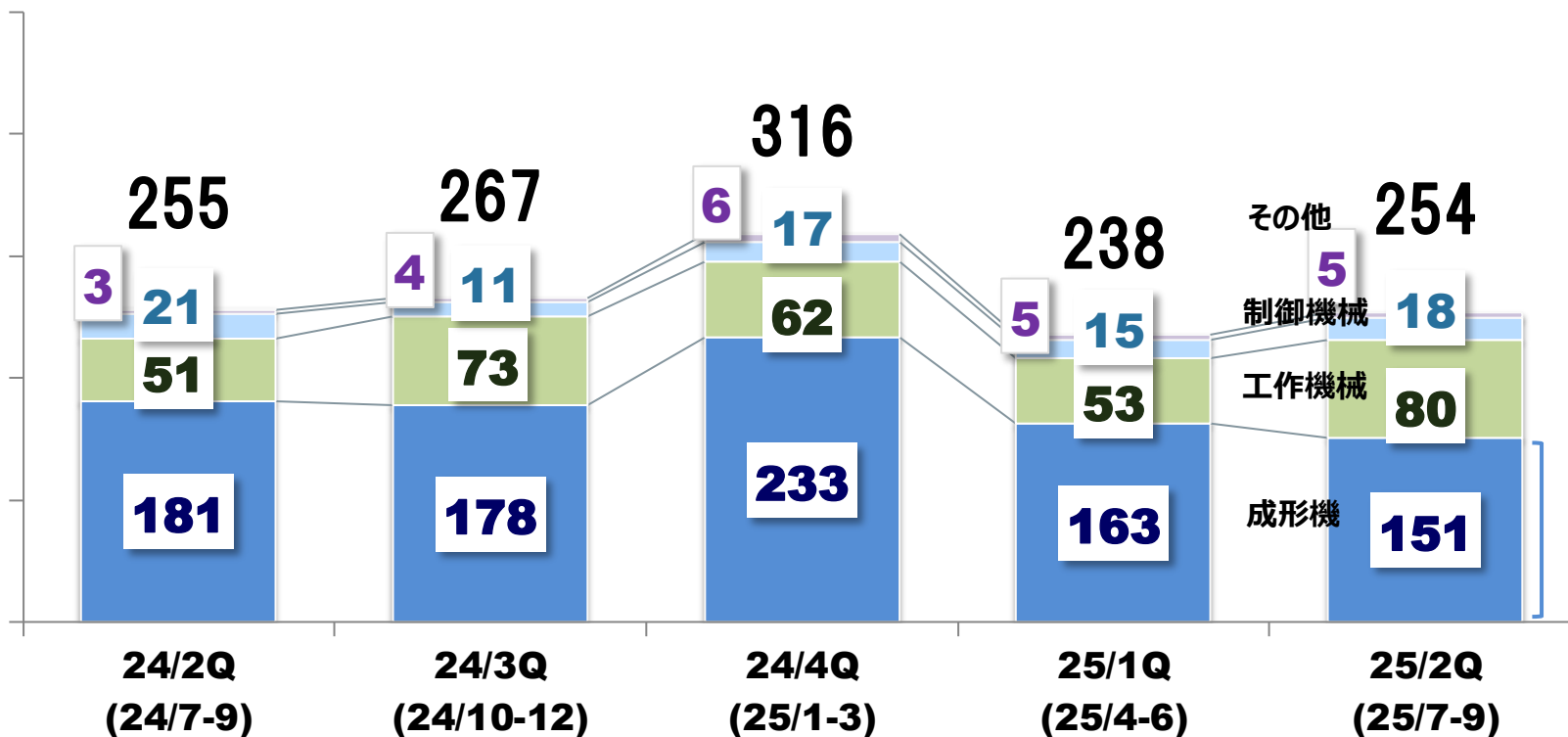
(単位：億円)

成形機内訳



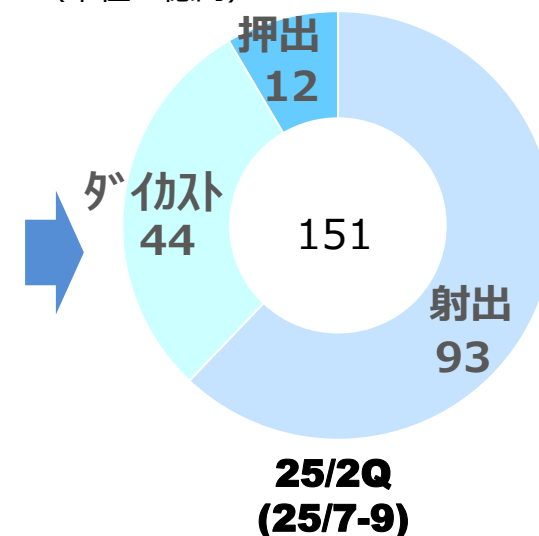
受注高推移 (セグメント)

(単位：億円)



成形機内訳

(単位：億円)



足元の受注状況

- 【射出】【ダ 缶】 米国相互関税は合意も設備投資様子見が継続、自動車市場停滞の影響もあり低調
- 【押出】 EV用「BSF」の受注遅れ
- 【工作】 エネルギー向け、航空宇宙向け、国内における造船向け需要堅調
- 【精密】 車載レンズ向け、大型サーバー需要拡大等に伴う光通信向け需要堅調
- 【制御】 中国における産業用ロボット低調

売上高 (セグメント)

(単位：億円)

(単位：億円)

成形機内訳

差異

$\Delta 192$ ($\Delta 22.1\%$)

$+5$ ($+51.3\%$)

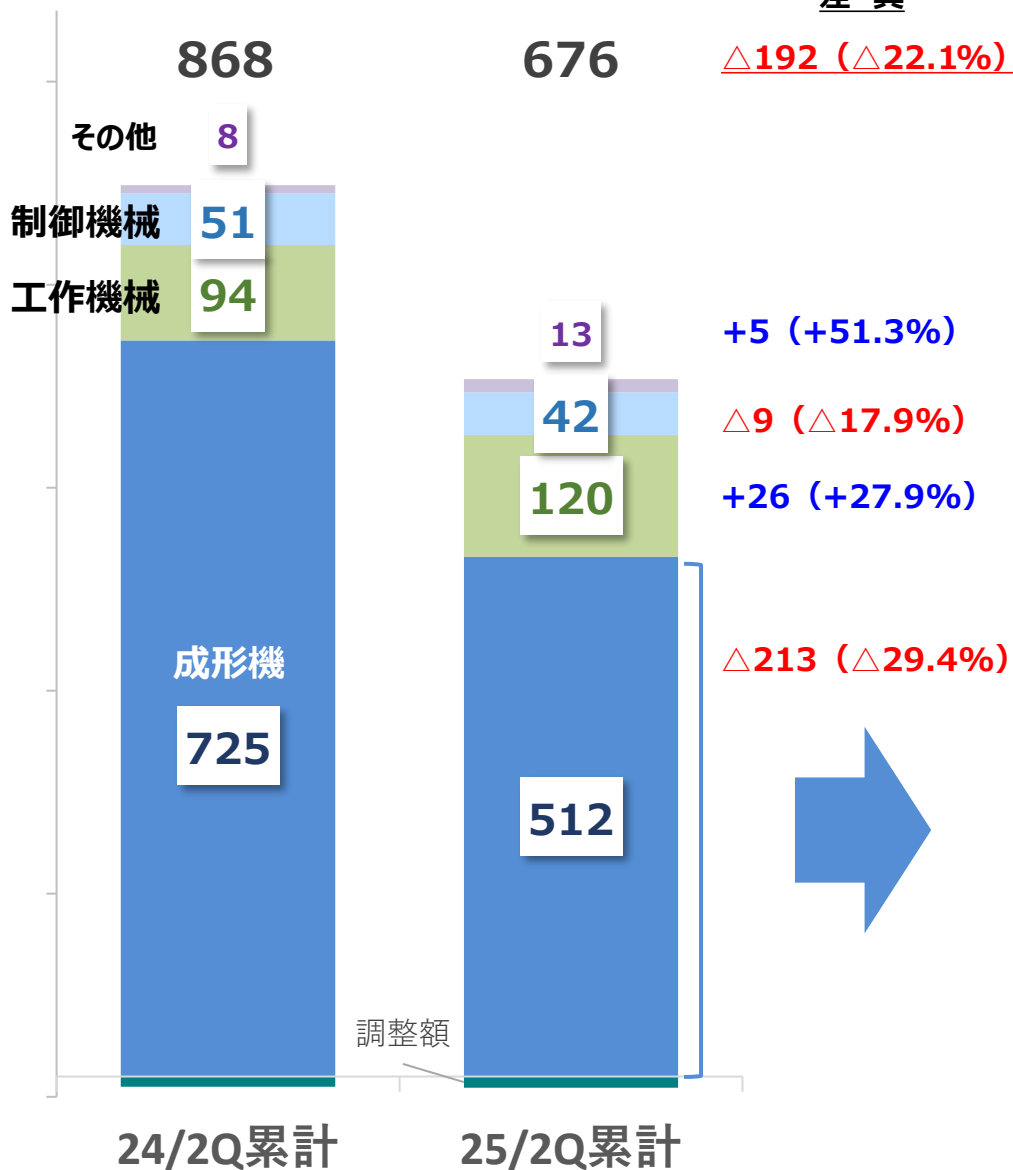
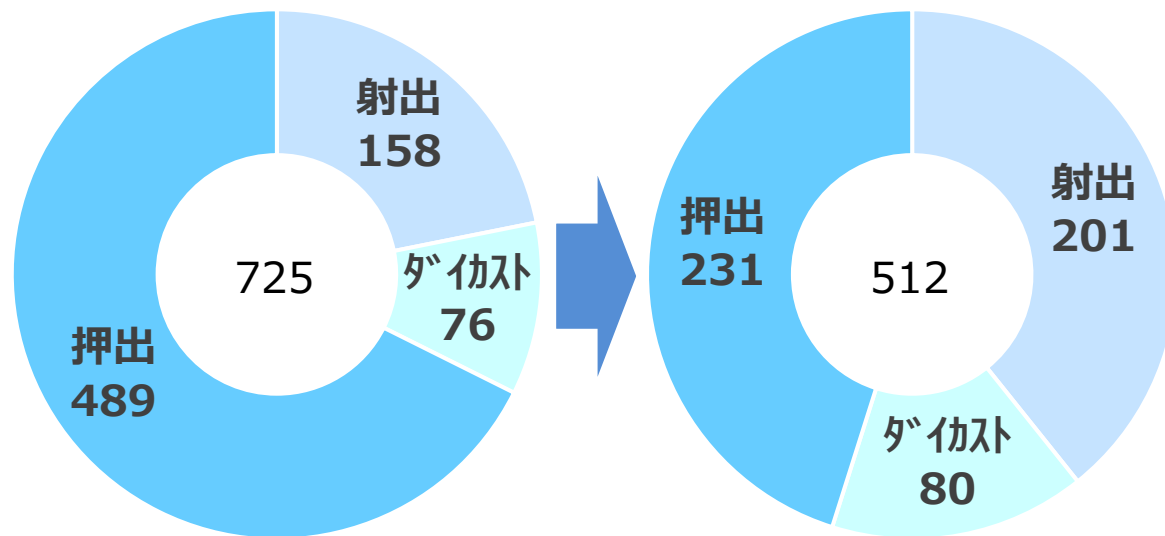
$\Delta 9$ ($\Delta 17.9\%$)

$+26$ ($+27.9\%$)

$\Delta 213$ ($\Delta 29.4\%$)

24/2Q累計

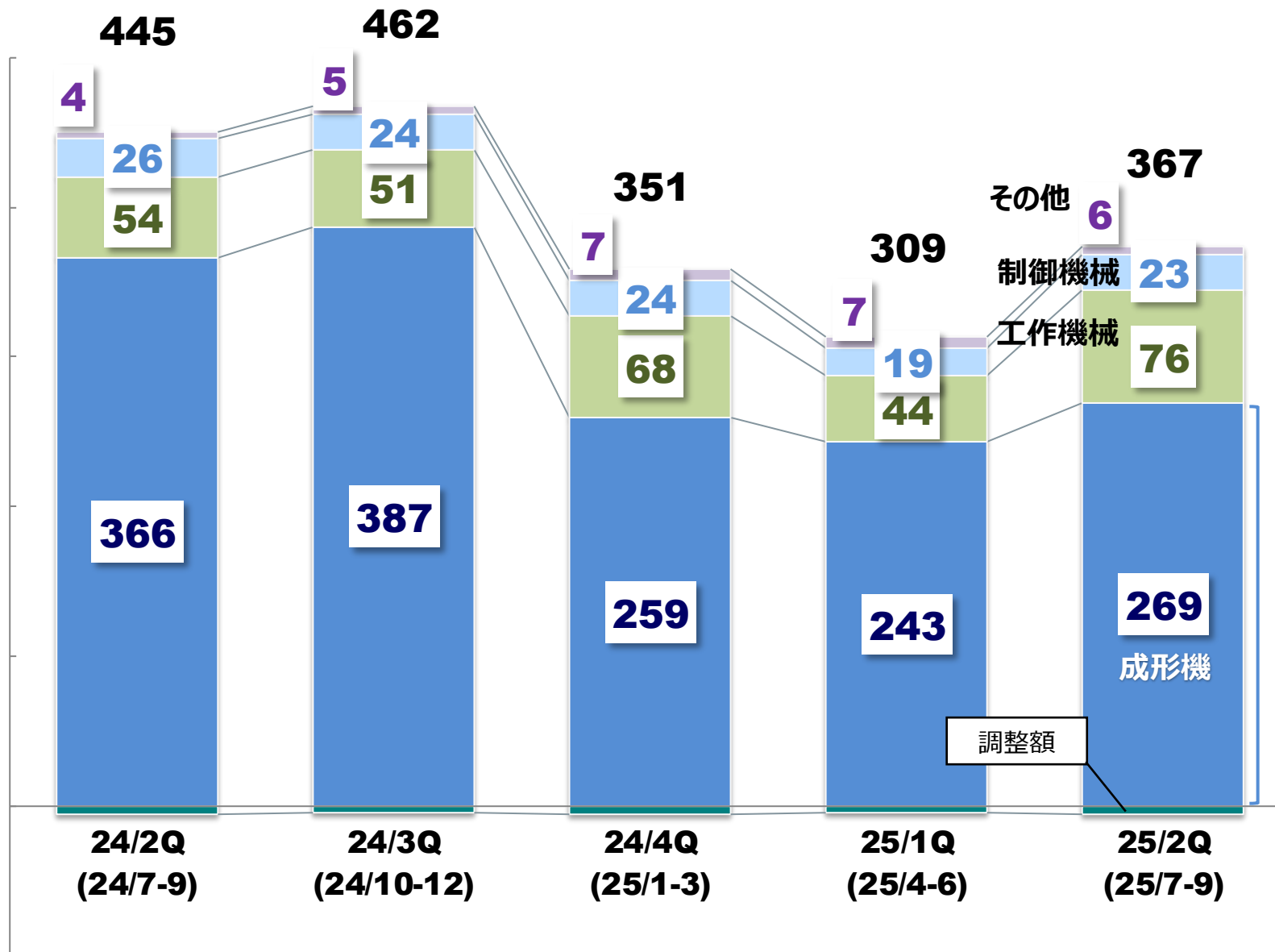
25/2Q累計



売上高推移（セグメント）

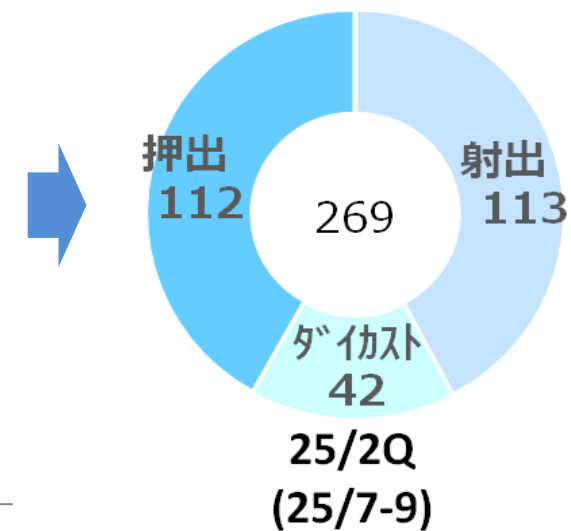
Shibaura Machine

(単位：億円)



成形機内訳

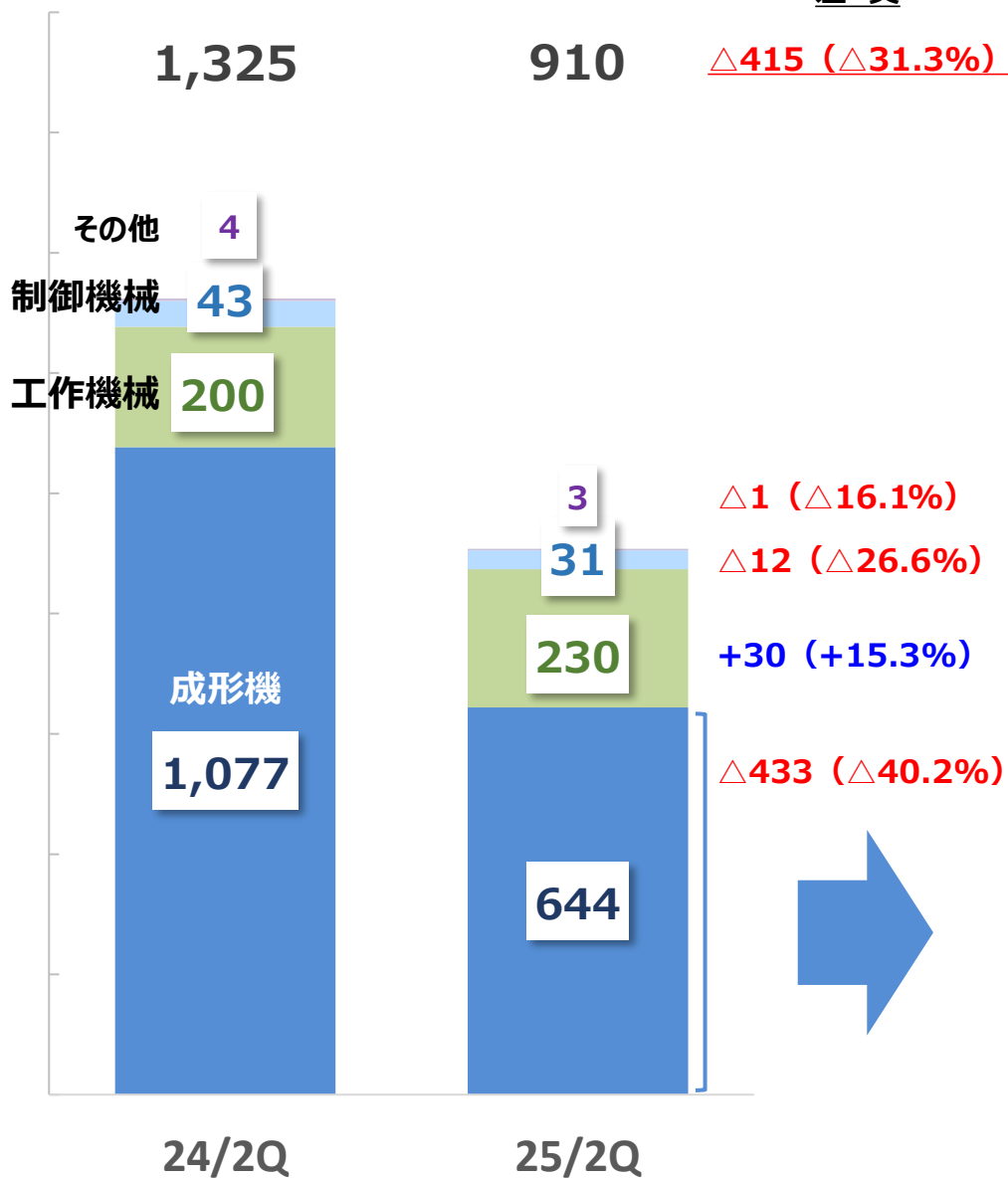
(単位：億円)



受注残高 (セグメント)

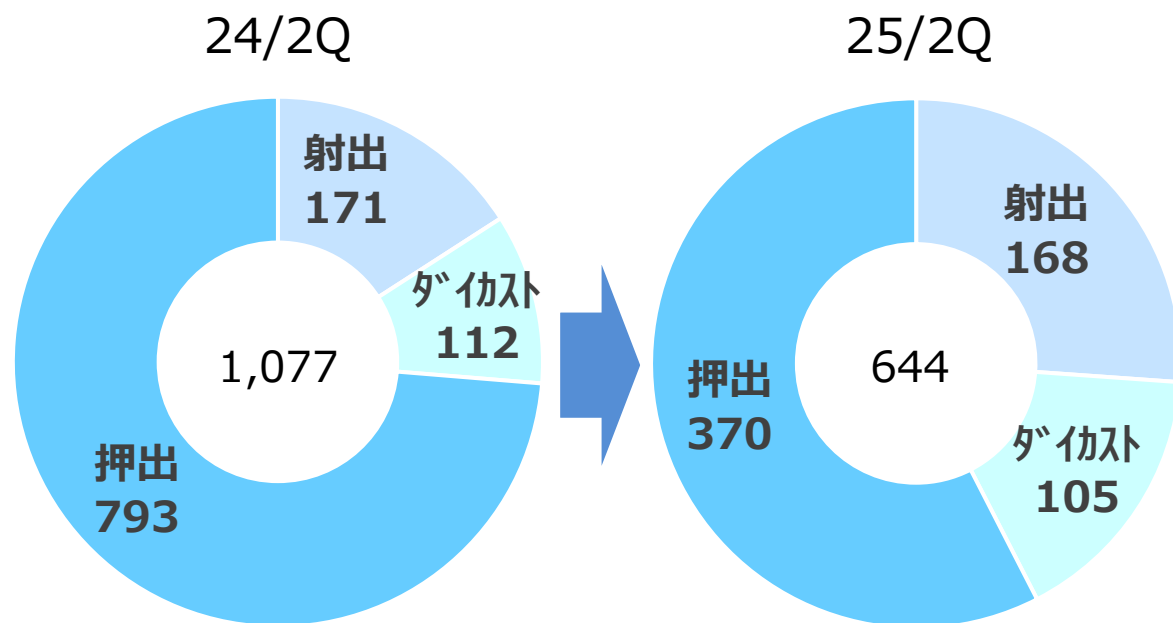
(単位：億円)

差異



(単位：億円)

成形機内訳



営業利益（セグメント）・経常利益・中間純利益

Shibaura Machine

(単位：億円)

(単位：億円)

営業利益

△64 (△75.8%)

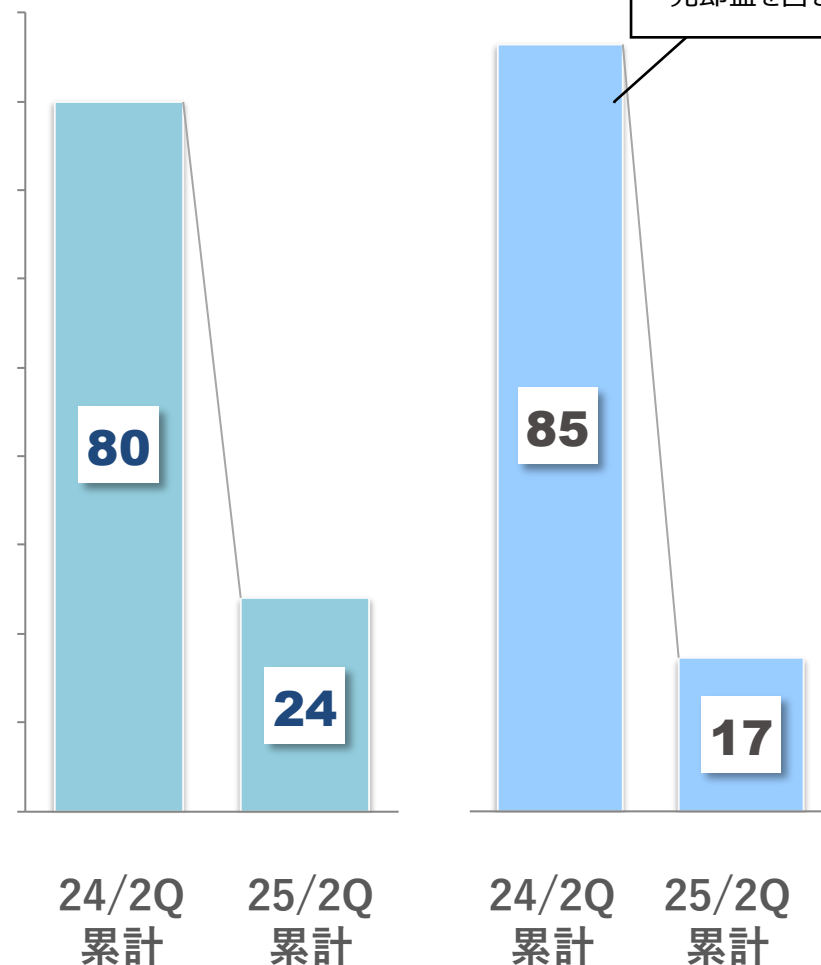
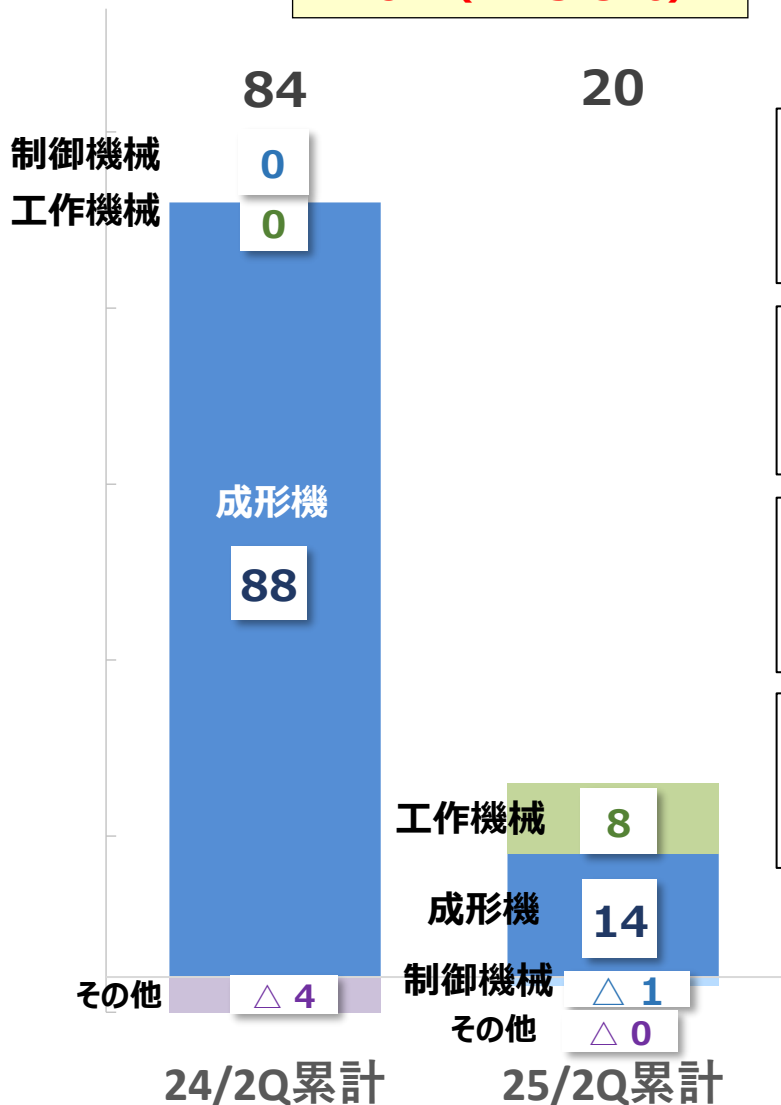
差異

経常利益

△56 (△69.5%)

中間純利益

△68 (△79.5%)



(成形機) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(射出成形機・ダイカストマシン・押出成形機など)

	25/2Q累計	24/2Q累計	差異	
			金額	率
売上高	512	725	△ 213	△ 29.4%
営業利益	14	88	△ 74	△ 84.1%
利益率	2.7%	12.2%	—	△ 9.5pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【射出】北米、東南アジアにおける自動車向け、容器向け等増加
- 【ダイカスト】韓国、北米、東南アジアにおける自動車向け増加



ネガティブ・ファクター

- 【押出】中国におけるEV用「BSF」の減少

(工作機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(工作機械、超精密加工機など)

	25/2Q累計	24/2Q累計	差異	
			金額	率
売上高	120	94	+26	+27.9%
営業利益	8	0	+8	+46.1倍
利益率	7.2%	0.2%	—	+7.0pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- 【工作】国内における産業機械向け、北米における航空宇宙向け、インドにおけるエネルギー向けで増加、利益率の改善
- 【精密】国内、中国における大型サーバー需要拡大等に伴う光通信向け、国内における半導体向けで増加



ネガティブ・ファクター

- 【工作】中国で減少

(制御機械) セグメント業績

Shibaura Machine

(単位：億円)

(産業用ロボット、電子制御装置、システムエンジニアリングなど)

	25/2Q累計	24/2Q累計	差異	
			金額	率
売上高	42	51	△ 9	△ 17.9%
営業利益	△ 1	0	△ 1	—
利益率	△ 4.6%	0.8%	—	△ 5.4pt

業績要因分析



ポジティブ・ファクター

- システムエンジニアリング増強



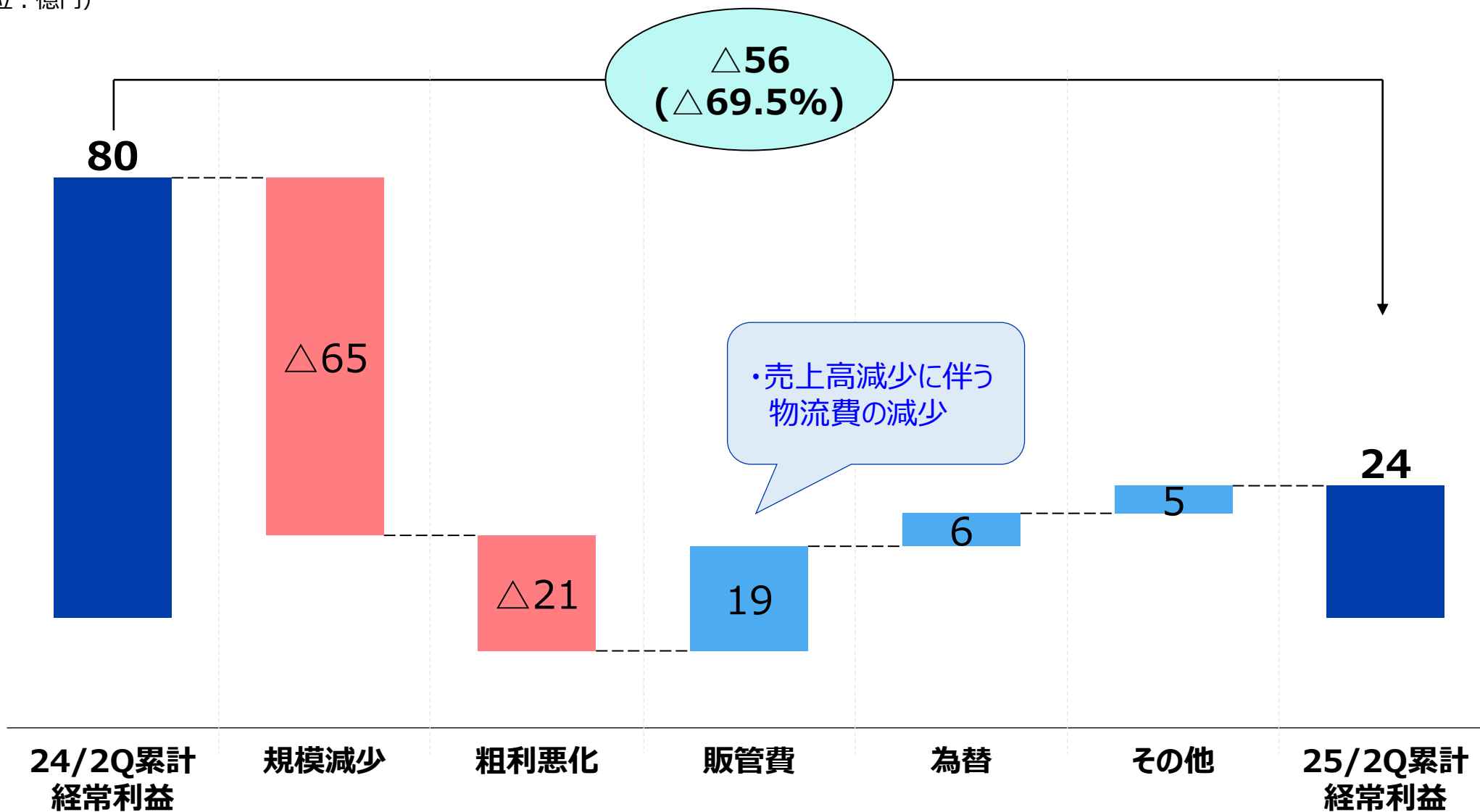
ネガティブ・ファクター

- 国内における電子制御装置減少

経常利益分析

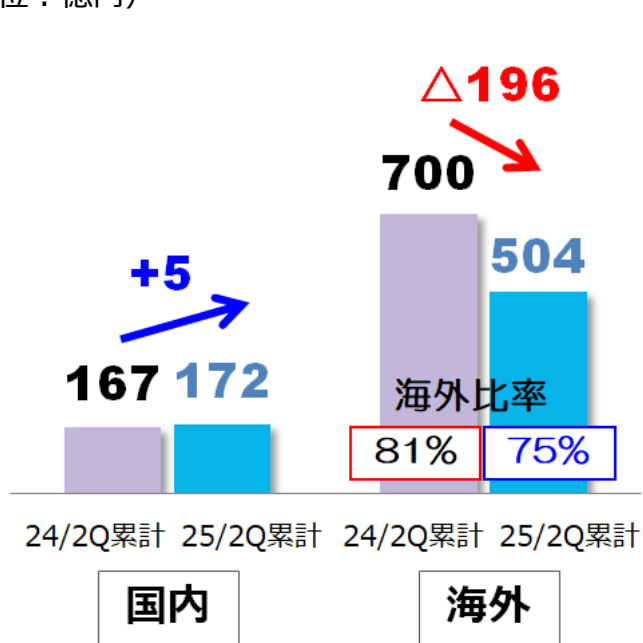
Shibaura Machine

(単位：億円)



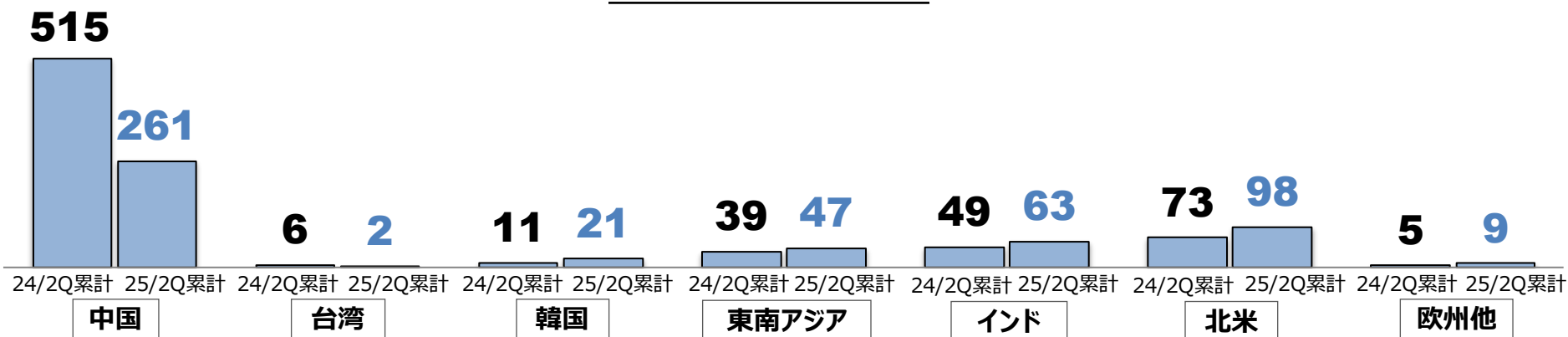
国内・海外売上高

(単位：億円)



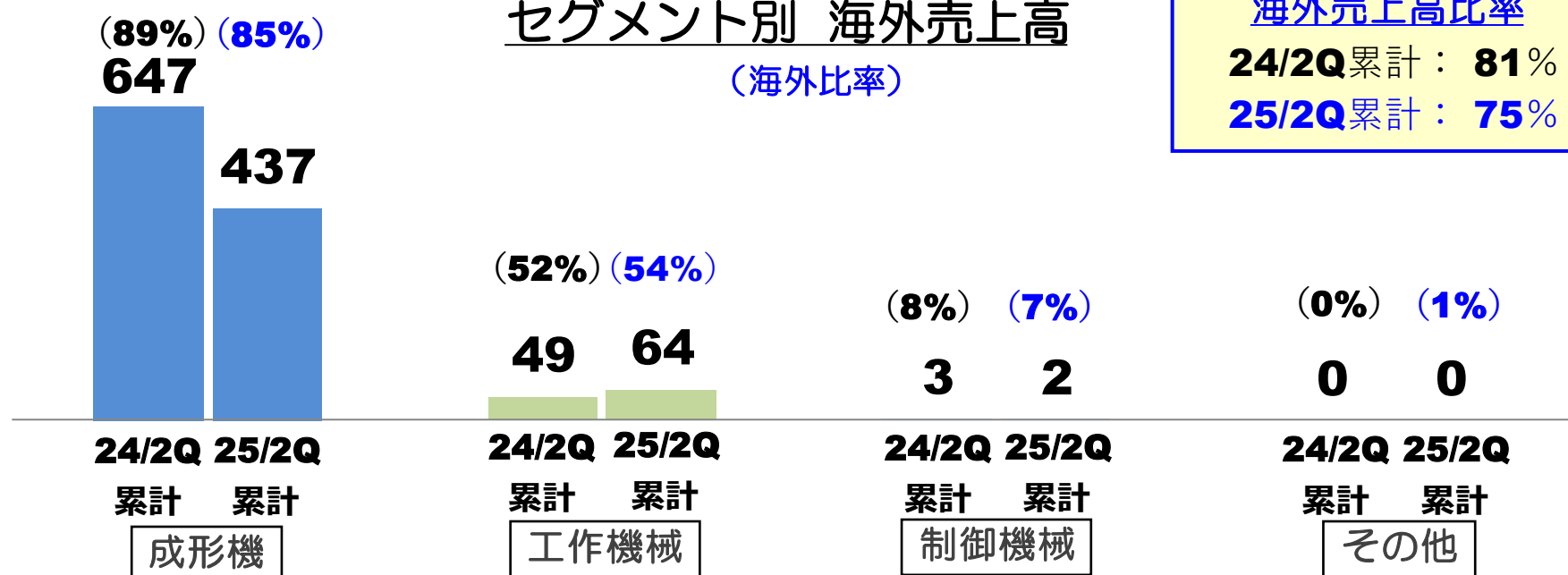
➤ 国内	：	➡	【射出】【押出】【工作】【精密】増加
		➡	【ダクト】【制御】減少
➤ 中国	：	➡	【射出】【精密】増加
		➡	【ダクト】【押出】【工作】減少
➤ 東南アジア	：	➡	【射出】【ダクト】増加
➤ インド	：	➡	【射出】【ダクト】【工作】増加
➤ 北米	：	➡	【射出】【ダクト】【工作】増加

海外地域別売上高

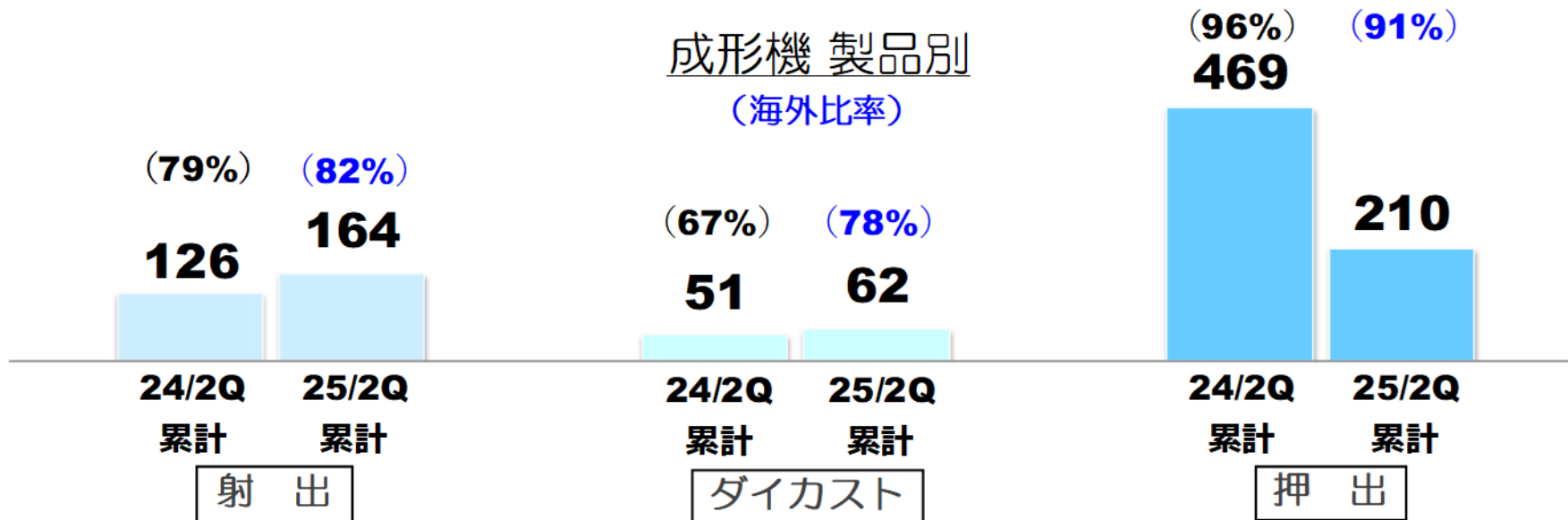


海外売上高・比率 (セグメント)

(単位：億円)



海外売上高比率
 24/2Q累計：81%
 25/2Q累計：75%



貸借対照表

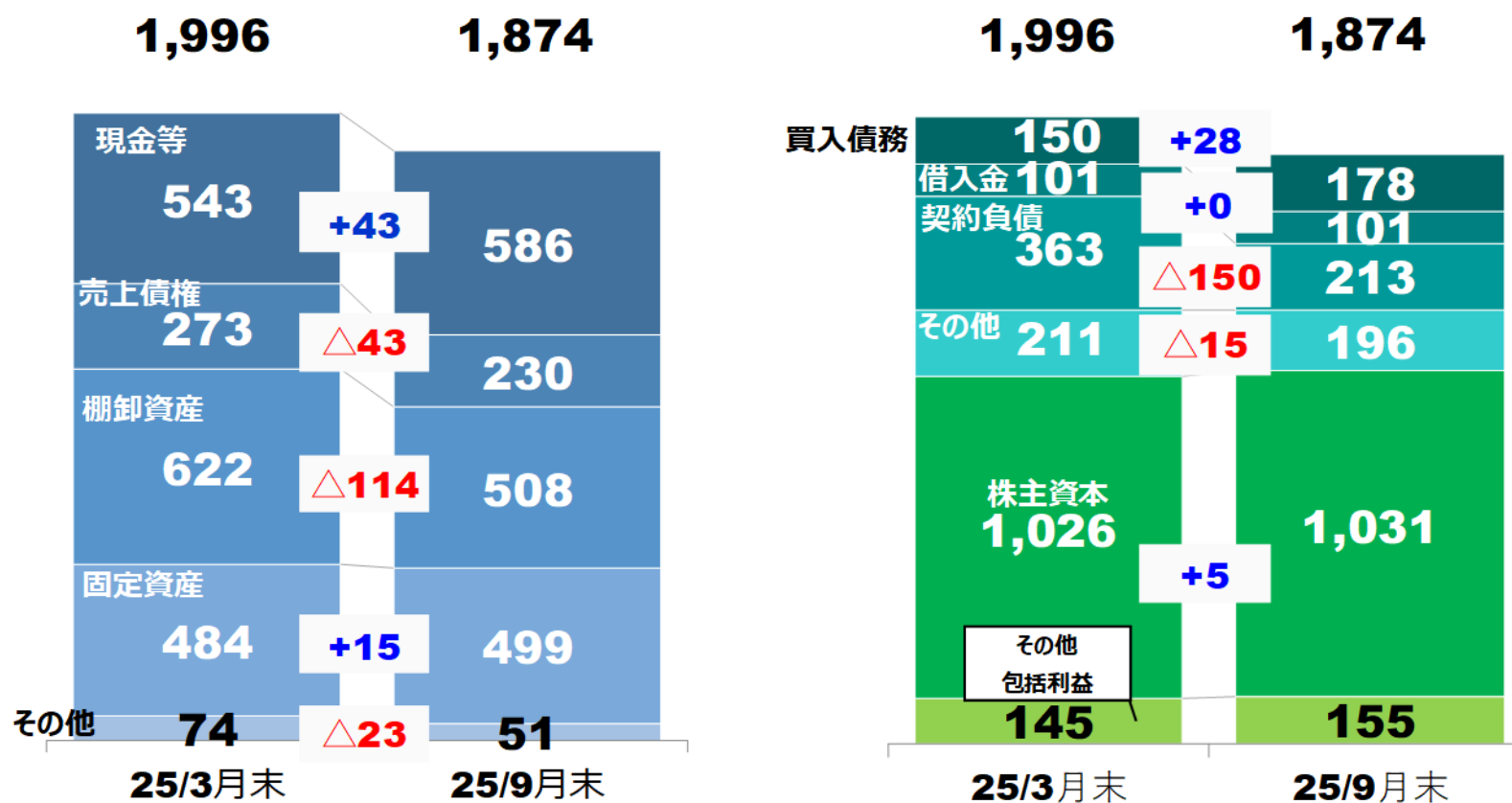
Shibaura Machine

(単位：億円)

資産

負債

純資産



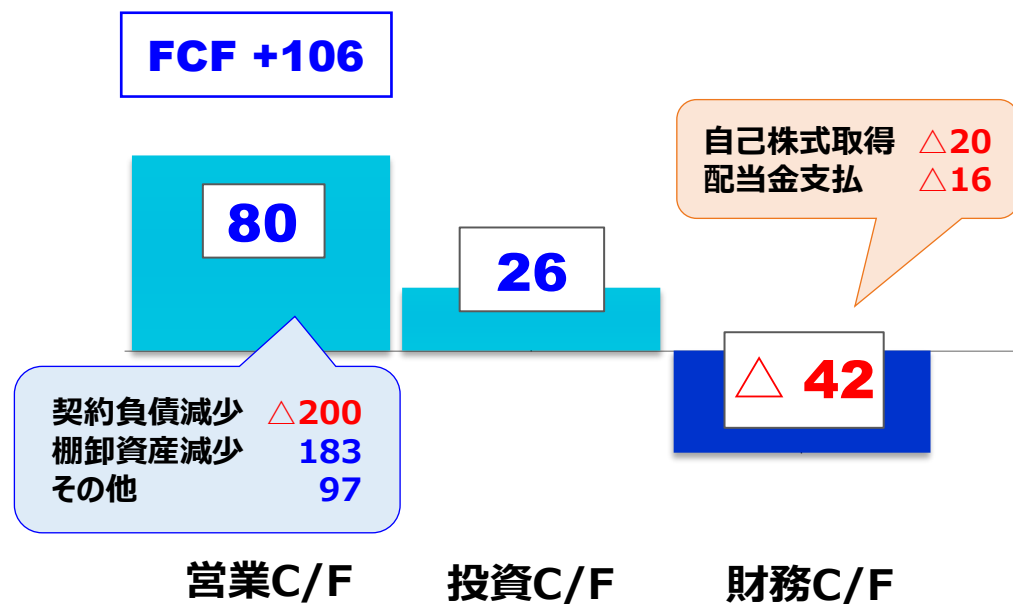
	25/3月末	25/9月末
自己資本比率	58.7%	63.3%
D/E比率	8.6%	8.5%

キャッシュ・フロー計算書

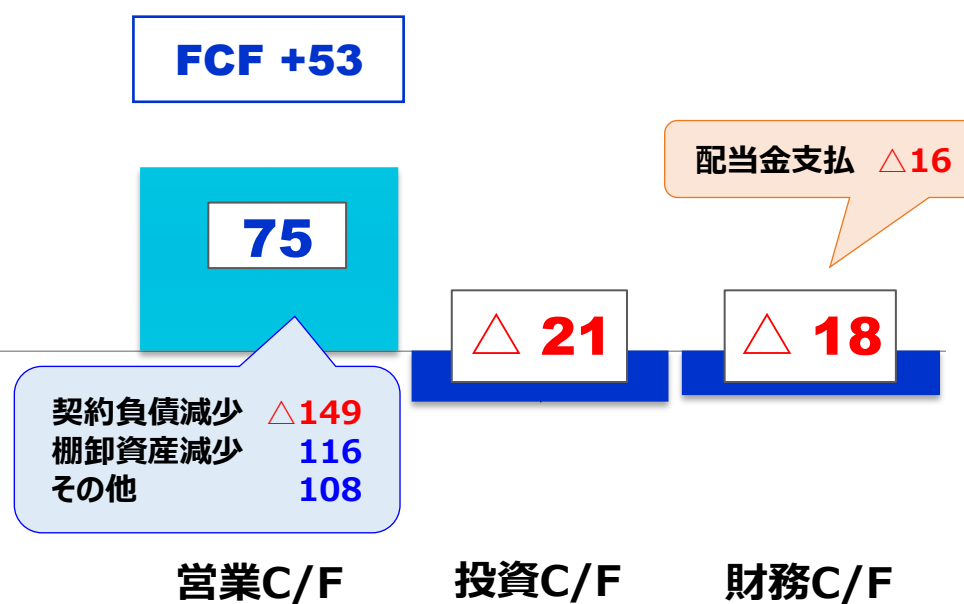
Shibaura Machine

(単位：億円)

24/2Q累計



25/2Q累計



	24/2Q累計	25/2Q累計	増減
現金及び同等物 期首残高	515	543	28
営業活動によるC/F	80	75	△5
投資活動によるC/F	26	△21	△47
財務活動によるC/F	△42	△18	24
計	64	35	△29
換算差額 他	△4	6	10
現金及び同等物 期末残高	576	585	9

■ 2026年3月期

業績予想

- 1) 業績予想
- 2) 研究開発費、設備投資・減価償却費
- 3) 配当予想

■ M&A実績

2025年度 業績予想

Shibaura Machine

(単位：億円)

直近に公表されている業績予想から変更ありません

	2025年度 業績予想 (2025/5/12公表) (A)	2024年度 実績 (B)	差異 (A-B)
売上高	1,400	1,681	△ 281
営業利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
経常利益	50	140	△ 90
利益率	3.6%	8.4%	△ 4.8pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	33	125	△ 92
利益率	2.4%	7.5%	△ 5.1pt
受注高	1,380	1,073	+307
為替レート (USD)	145 円	150 円	

- 受注高は、下げ止まり回復基調
- 売上高の減少は、主に押出成形機のEV用「BSF」の減少による
- 営業利益、経常利益の減少は、主に売上規模減少による
- 当期純利益の減少は、売上規模減少及び前年度に計上した土地売却益の反動減による

研究開発費、設備投資・減価償却費

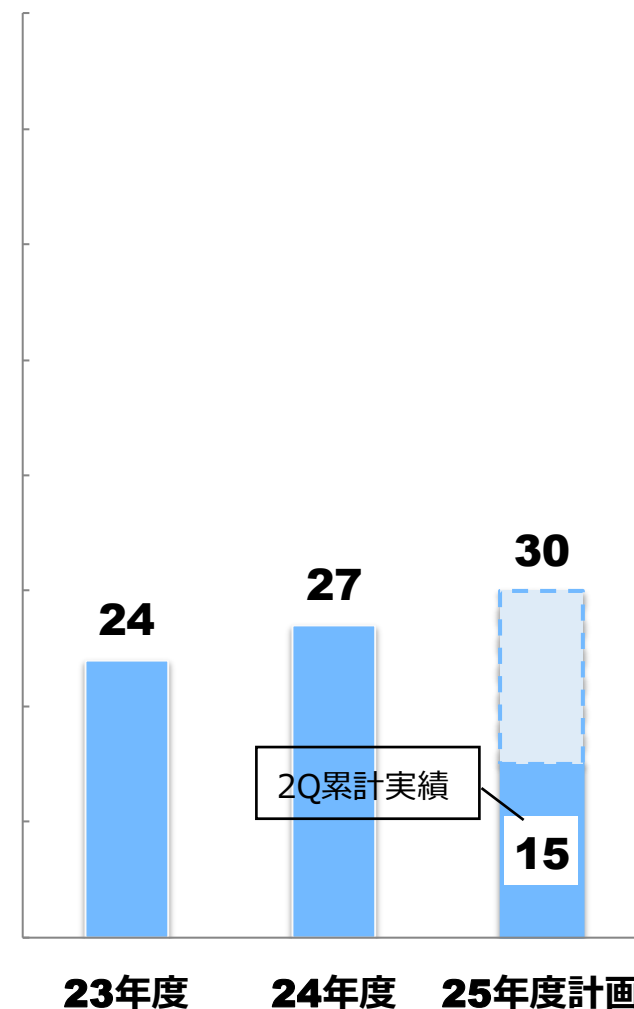
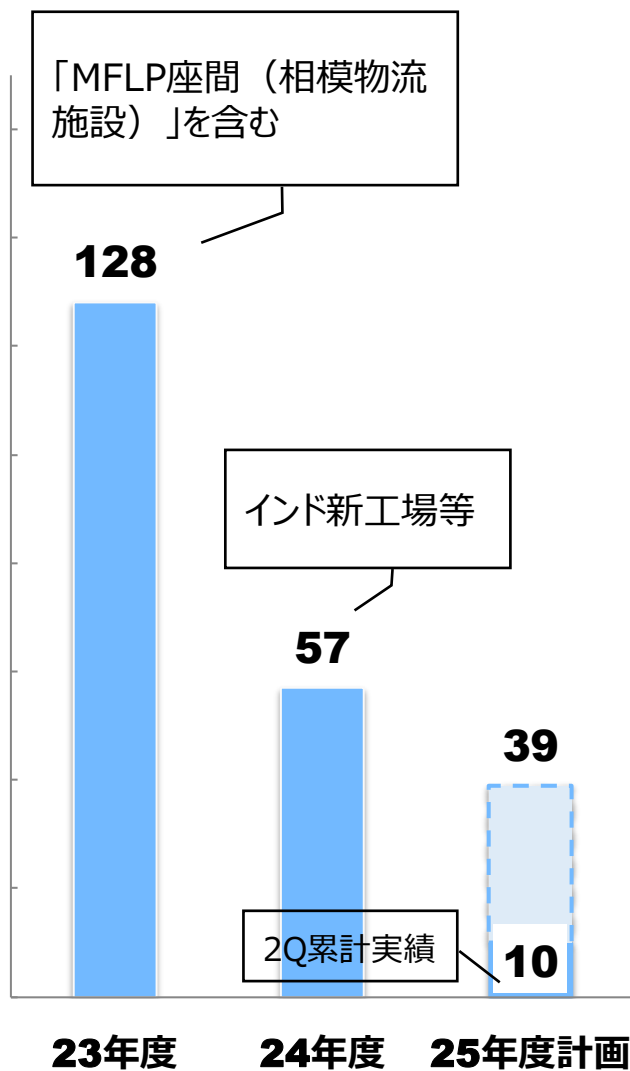
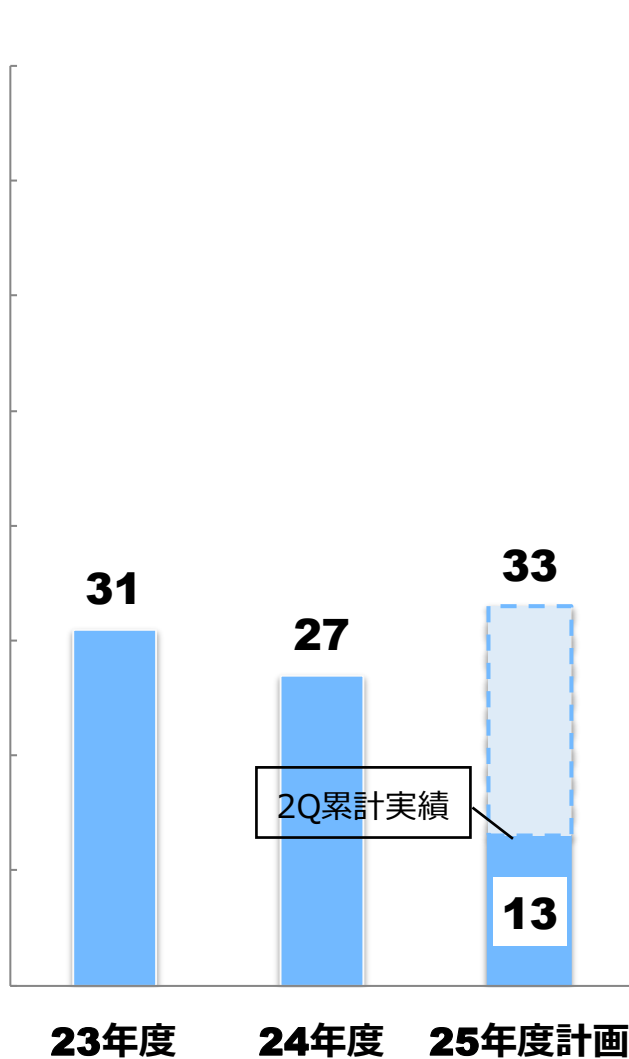
Shibaura Machine

(単位：億円)

研究開発費

設備投資

減価償却費



直近に公表されている配当予想から変更ありません

配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

利益剰余金につきましては、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、人的資本の強化や生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆様への適正な利益還元を実施してまいります。

	第2四半期末	期 末	年 間	配当性向 (連結)
2024年3月期	70.0円	70.0円	140.0円※	52.1%
2025年3月期	70.0円	70.0円	140.0円	26.4%
2026年3月期 (予想)	70.0円	70.0円	140.0円	100.3%

※2024年3月期の配当性向：「MFLP座間（相模物流施設）」事業化に係る特別利益（土地売却益）は、等価交換方式のため建物の持分取得に充てられたことから、当期純利益から除いています。
また、2024年5月13日に公表した自己株取得を含めた総還元性向として算出しています。

【前中期経営計画中的実績】

■ **テクノリンク株式会社**（旧社名：ポッカマシン株式会社）（愛知）

取得目的：システムエンジニアリング事業の拡大、当社製品のシステム販売強化

事業内容：合理化、省力化システムの企画・設計・製造・販売

株式取得日：2024年3月1日

議決権所有割合：100%

【現中期経営計画中的実績】

■ **株式会社ファンクショナル・フルイッド**（大阪）

取得目的：射出成形機・ダイカストマシンの拡販、グローバル展開、SDGsへの貢献

事業内容：二次冷却システム・金型冷却装置の製造・販売等

株式取得日：2025年5月1日

議決権所有割合：100%

■ **SHIBAURA MACHINE LWB GmbH**（旧社名：LWB Steini GmbH）（ドイツ）

（2025年11月下旬～12月中旬 株式取得予定）

取得目的：射出成形機を中心とした欧州事業の拡大

事業内容：射出成形機を中心とする産業用機械の製造・販売

売上高：約4千万ユーロ

議決権所有割合：80%（3年後を目処に完全子会社化予定）

Shibaura Machine

芝浦機械株式会社

〒100-8503 東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル

TEL (03)3509-0444 FAX (03)3509-0336 URL : <https://www.shibaura-machine.co.jp>